

新小岩公園再整備事業 説明会通信 vol.2

R4年度

日頃から、葛飾区のまちづくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、新小岩公園の再整備については、令和3年7月に基本計画を策定した後、概略設計を実施し、今年度は基本設計に取り組んでいます。基本設計を進めていくにあたり、施設の方針や完成イメージをご報告し、ご意見を賜るため、以下のとおり第5回説明会を開催しました。説明会には14名の地域の方にご参加いただき意見交換を行いました。

01 開催概要

日時・場所 日時：令和5年2月27日（月）19:00～20:00
場所：新小岩北地区センターホール

- 説明会の流れ**
- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. これまでの振り返り | 5. 完成イメージ |
| 2. ゾーニング・全体配置計画 | 6. 今後のスケジュール |
| 3. デザインのテーマ | 7. 質疑応答 |
| 4. 屋内施設 | |



説明会の様子

02 基本設計コンセプト

未来志向の公園づくり

まちを守り、まちに愛され、まちを育む

—— まちのシンボルとなる公園 ——

整備方針の取り組みや新小岩エリアの地域性や風土などを取り入れることにより、地域住民の拠り所として「誇り」や「愛着」を創出し、「まちのシンボルとなる公園」とします。

- 整備方針**
- 守** 防災機能の強化
 - 愛** 憩い・賑わい空間の創出
 - 育** まちと共に発展

03 デザインのテーマ

公園内の施設や建築物は景観の統一感をつくり、地域に愛される設えとします。統一された景観を創出するため、「デザインコード」を用います。「デザインコード」とは、異なる施設においても同じ要素（素材や色彩、柄など）を用いることにより、デザインの統一を図ることで、公園内の施設や建築物は景観の統一感をつくり、地域に愛される設えとします。統一された景観を創出するため、「デザインコード」を用います。「デザインコード」とは、異なる施設においても同じ要素（素材や色彩、柄など）を用いることにより、デザインの統一を図ることで、公園内の施設や建築物は景観の統一感をつくり、地域に愛される設えとします。統一された景観を創出するため、「デザインコード」を用います。

新小岩公園では、川を想起する川石（玉石）や伝統工芸である江戸小紋の繊細な模様などが考えられます。

デザインコードの例



川石(玉石)

江戸小紋

「デザインコード」による統一された景観創出

まちのシンボルとなる公園へ

04 主なご意見と回答

Q
液状化対策はしているか？

A
高台部については、液状化対策として地盤改良を行い、液状化による地すべりや沈下などを抑止するよう検討しております。

Q
これまでの要望がまとめられており、とても良い計画だと思う。今後も住民の様々な意見を取り入れ、多くの方が使いやすい公園にしてほしい。

A
公園は使われてこそ価値があるため、地域の皆様のご意見を参考に、実現できるように進めていきます。

Q
災害時に多くの方が避難してきた場合、トイレが足りなくなるのではないかと？

A
災害用マンホールトイレを50基程度、設置する予定です。

Q
防犯対策をしっかりとしてほしい

A
防犯カメラを設置し抑止を図っていきます。公園は日常の生活動線となっていることから夜間閉鎖することは難しい状況ですが、防犯・安全対策は今後も検討していきます。

Q
イベント時の騒音対策をしっかりとしてほしい

A
再整備後のイベントは公園の川側で行うことを想定しています。また、川側に音を向けるようにすることで、現状よりも騒音は緩和される見込みです。

Q
地震時の電源は確保できるか？

A
地震時の非常用電源として、発電機を屋内施設内に設置する予定です。

05 今後のスケジュール



次年度(実施設計)に向けて

令和元年度より、皆様と意見交換を重ね、基本設計案を取りまとめることができました。引き続き、関係機関と協議を行いながら事業を進めてまいります。今後のご意見、ご要望につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

本通信や説明会の資料等は、葛飾区のホームページにも掲載しています。

葛飾区公式サイト：トップページ▷まちづくり▷公園▷新小岩公園再整備について▷第5回新小岩公園再整備事業説明会

アドレス：<https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003408/1031105/1031355.html>



葛飾区都市整備部公園課建設係
担当 大石・鍋木・清藤・中島
連絡先 03-3695-8385

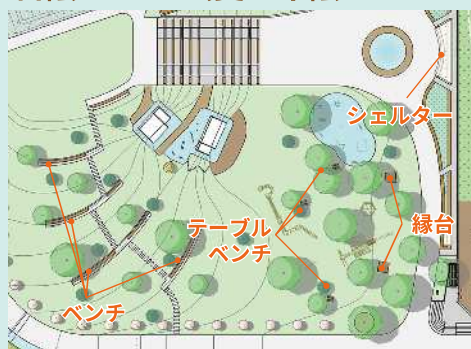


06 全体配置計画



07 施設計画

日陰について(夏の木陰のイメージ)

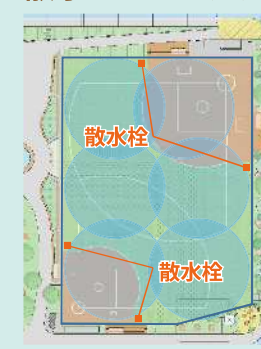


ベンチなどのまわりに樹木を配置することにより、木陰で休むことができる場所をたくさんつくります。



木陰のテーブルベンチのイメージ

散水スプリンクラーについて



砂塵を防止するため、移動式スプリンクラーが使えるよう、散水栓を設置予定です。



移動式スプリンクラーのイメージ

08 屋内施設

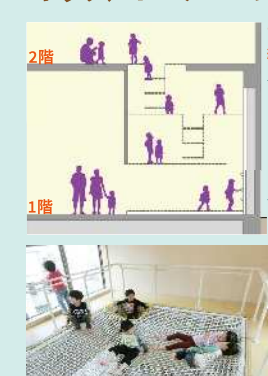
多目的スペースの使い方について



①通常時のイメージ

②イベント時のイメージ

キッズコーナーの整備について



参考イメージ

100㎡程度の多目的スペースを整備予定です。可動間仕切りにより、2つに分けて様々な利用を想定しています。

イベント時は、運営本部と休憩・ミーティングスペースなどに分けて利用できます。

子育て支援として、キッズコーナーを整備予定です。施設内の吹き抜け空間を活かした遊具を配置予定です。屋内のため、雨天でも子連れで楽しむことができます。

09 完成イメージ



① 南東方向上空から全体を見る



③ 南側園路(東方向を見る)



⑤ じゃぶじゃぶ池周辺



⑦ 大階段から見渡す



② 健康づくりの散策路



④ 遊具エリア



⑥ 斜面広場を見上げる



⑧ 北西方向上空から全体を見る